

履修の心構えと効果的な学習方法

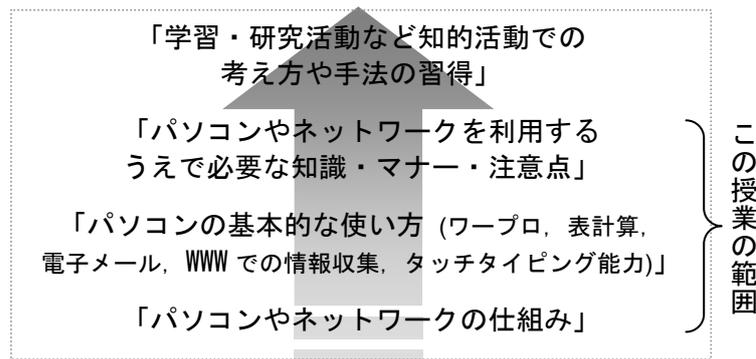
担当：秋本・川端・笹原・匂坂・清水・千葉

コンピュータ・リテラシーの授業の目的

- 「情報化社会」において、学生として、また社会人として、最低限必要となる情報リテラシーを身につけよう！
- コンピュータなどの情報機器のしくみや、情報コミュニケーション技術 (ICT, *Information and Communication Technology*) の基礎的な概念を理解し、実習を通じてパソコンやネットワークなどを使いこなそう！

コンピュータ・リテラシー履修の心得

- (1) コンピュータ・リテラシーは、パソコンやネットワークを使いこなすための能力をつける準備運動のようなもので、ここで習うことは、これから4年間の大学生活、さらには社会に出てからの生活を支える大切な基礎となります (下図を参照)。

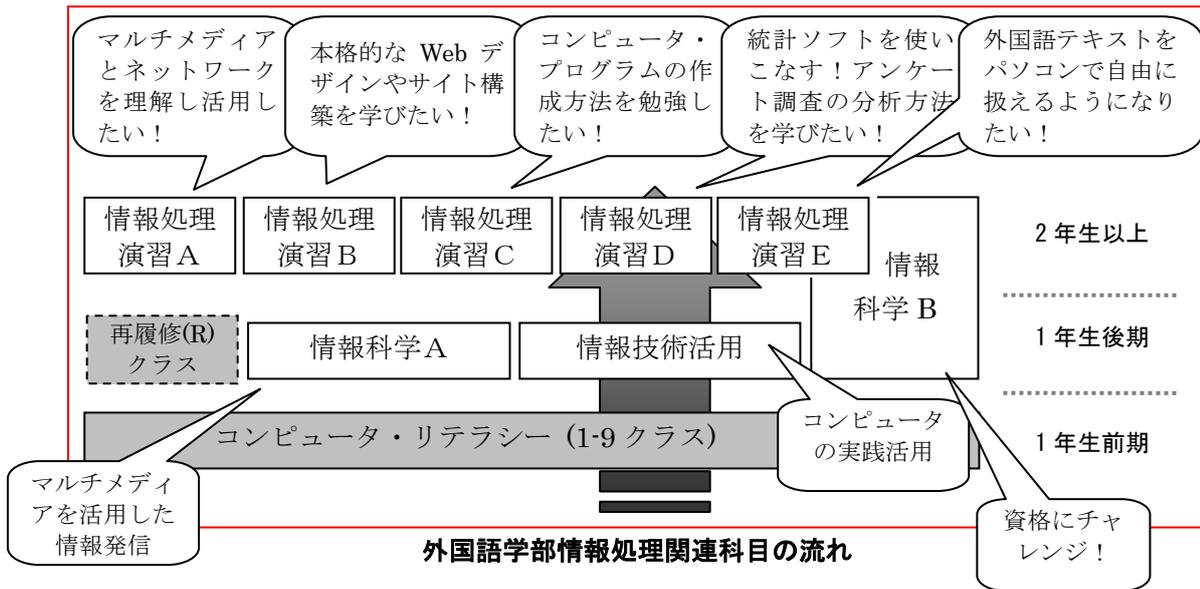


コンピュータ・リテラシーが目指すもの

- (2) パソコンは智力・脳力をパワーアップする道具です。しかし、すべてを皆さんの代わりにやってくれるわけではなく、「何をするか」「どうやってするか」を決めるのは、皆さんです。授業で指示された操作をただ行うのではなく、「何のために作業をしているのか」を理解するようつとめましょう。
- (3) 操作は、何度も練習してはじめて身につきます。課題をしっかりとこなし、分からないところは粘り強く復習することが習得の近道です。授業では先輩方がTA (ティーチング・アシスタント) としてお手伝いしてくれますが、自分ひとりでできるまできちんと復習し、授業で学んだ知識を確実に身につけるよう心がけましょう。

コンピュータの操作や、授業などで「これは重要」と思ったポイント、新しい用語はすぐにメモをとりましょう。コンピュータに関する情報はたくさんあり、ほうっておくと次々に増えて、何が重要なかがわからなくなってしまいます。どれが自分にとって大切かは自分にしかわかりません (し、逆に全部覚える必要もありません!)。また、とらないと忘れてしまいますし、調べるための手がかりを失ってしまいます。

外国語学部の情報系科目の流れ



外国語学部情報処理関連科目の流れ

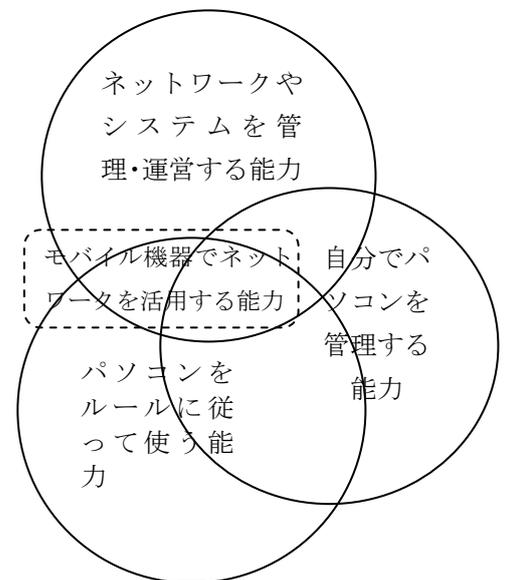
- ◇ コンピュータ・リテラシーは必修科目です。前期のクラスで単位を取得できなかった人むけに再履修クラス (R クラス) が開講されます (後期)。
- ◇ 後期に開講される「情報科学 A」「情報技術活用」は 7 月にコンピュータ・リテラシーの授業の中で履修希望を調査し事前^にクラス分けを行います。1 年次後期に両方の科目を履修することもできますし、一方を後で降履修することも可能です。(演習科目の一部はこれらの科目を履修することが条件になっています。)
- ◇ P 検準 2 級を取得することで「情報科学 B」の単位(2 単位)を、P 検 2 級および CompTIA Strata IT Fundamentals をそれぞれ取得することで「情報処理に関する科目」の単位(2 単位, 1 単位)を取得できます。P 検は学内で定期的に団体受験が実施されます。

よくある質問

- 大学では、パソコンを買うよう強制することはありません。大学のパソコンやネットワークを使うことで、情報機器を扱うための基礎的な知識(「パソコンをルールに従って使う能力」、右図を参照)を得ることができます。麗澤大学の充実した情報設備を活用しましょう!
- パソコンを自分で管理し、調整や拡張の経験を積むことで、さらに多くの知識(「自分でパソコンを管理する能力」)を得ることができます(右図を参照)。自分の学習状況や経済状況を考慮し、購入を検討するのもよいでしょう。

現在購入できる Windows パソコンの多くは、大学 PC (Windows 7) とは異なる「Windows 8」「同 8.1」という基本ソフト(OS)で動きます。この新しい OS は Windows 7 とは操作方法や機能において多くの違いがあります。コンピュータ・リテラシーでは、大学の環境を中心に実習をおこないますが、最新の情報についても随時触れていきます。

- 自分のノートパソコンや、スマートフォン、タブレット端末を無線 LAN に接続することができます(ヘルプデスクにネットワーク機器接続申請をしてください)。ネットワークの接続方法をマスターすることは、ネットワークを活用するよい訓練となります(右上図を参照)。
- 大学の情報システムの管理・運営を手助けする TA (Teaching Assistant) になることで、さらに「ネットワークやシステムを管理・運営する能力」を身につけたり、情報機器の利用方法を指導する経験ができます(右上図を参照)。TA の募集は掲示が出ますので注意してください。この授業でも、TA や教員に自分をアピールしましょう! (以上)



情報機器の運用能力いろいろ